

堺市ガス気球整備及び運営事業に関する質問書に対する回答

令和3年2月22日現在

No	質問事項	回答
1	<p>事業者決定後に概算払対応が可能でしょうか？現在すでに予算化されている気球基盤整備事業について、発注が証明できる書類を提出した場合、事業者から要望があれば、概算払対応が可能か教えてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・負担金を概算払とすることは可能です。 ・資金計画や見積書、発注伝票等の必要書類を提出いただき、概算払の時期・額等について本市と協議することが必要です。 ・なお、気球基盤整備事業として、令和3年第1回堺市議会定例会に予算案を提案している本市が負担する費用のうち、募集要項に費用を記載していないものは、次のとおりであり、予算提案額は1076万円です。 <ul style="list-style-type: none"> ○既存東屋を撤去する場合に不特定多数が利用できる東屋・待合所を整備するための費用 ○募集要項中「Ⅲ事業実施条件等 5. 気球（本体及び設備）の仕様（10）」に記載の電源確保に関する費用 ※ただし、市議会での予算審議の状況等によっては、内容の変更や、規模の縮小等が生じる場合があります
2	<p>世界遺産を目的に来場される方が電車、自家用車、バスなど大仙公園にどういったアクセス方法を取っているかわかるデータはありますか？アクセス方法だけでなく、ターゲット像など事業設計のためにこれまで観光調査を実施していればできる限り公表をお願いします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年10月中の9日間、仁徳天皇陵拝所で実施した対面アンケート調査（有効回答数434名）では、来訪者の交通手段（その他の回答を除く）は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> 電車 51% 自家用車 23% バス 8% 自転車 7% ・携帯電話事業者の位置情報ビッグデータに基づく推計では、大仙公園エリア内に60分以上滞在する堺市外からの来訪者は29.4万人（2019年度）となっています。 ・堺市ビジター実態調査（2018年度版）では、堺市域への観光ビジター数は1047.9万人（推計）です。 ・その際の主な観光施設における来訪者向け調査（有効回答数1313）の年齢層は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> 30歳未満 12.6% 30歳代 16.9% 40歳代 17.0% 50歳代 17.3% 60歳代 18.4% 70歳以上 17.8%
3	<p>気球の運航のために、博物館経由で入手できる予定の電力について、ボルト、アンペア、周波数について教えてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・募集要項の、Ⅲ事業実施条件等 5. 気球（本体及び設備）の仕様（10）に記載のとおりです。事業者において運行に必要な電圧及び電流に変電してください。なお、周波数は60Hzです。